

第44回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

令和3年11月2日（火） 10:00～12:00

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

青木部会長、片岡部会長代理、遠藤委員、折木委員、白坂委員、鈴木委員、名和委員

(2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 河西局長、岡村審議官、藤重参事官

(3) 関係省庁

内閣官房 衛星情報センター 野田調査官

内閣官房 国家安全保障局 徳永内閣審議官

外務省 総合外交政策局 宇宙・海洋安全保障政策室 倭島室長

経済産業省 製造産業局宇宙産業室 伊奈室長補佐

防衛省 防衛政策局戦略企画課 田邊課長

4. 議事要旨 (○：委員からの質問・意見等 ●：回答)

(1) 「軌道上サービスを実施する人工衛星の管理に係る許可に関するガイドライン」について、資料1に基づき事務局より説明が行われた後、次のような議論が行われた。

○サイバーセキュリティについて、ガイドライン案の解説部分においてソフトウェア面の対策があまり明確には読み取りにくい。

●解説は例示であり、最終的には指針を満たすか否かで審査するものであるが、申請・審査の実例の蓄積を見て、見直していきたい。

○ガイドラインの技術的な事項について、申請前に十分な事前相談の時間が必要。

●早期の相談を促していく。

○日本の意図が伝わるように、国際的な発信をしていくべき。

●これまでも国際イベント等で説明しており、これを続けていく。

(2)「宇宙基本計画工程表の改訂（安全保障分野）」について、資料2，3及び参考資料1～4に基づき説明が行われた後、次のような議論が行われた。

○情報収集衛星について、どう役に立っているかという部分に関して、各省と連携している観点や危機管理上の観点などについても工程表に記載すべき。

●検討する。

○防衛省が予算要求していると報道があった宇宙巡回船とは。

●SSA衛星への推薬補給による寿命延長の他、宇宙状況監視機能を持たせることが考えられる。具体的な内容は今後検討する。

○宇宙巡回船が用語として適切か。

●名称を含めて検討する。

○HGV探知を行うための衛星コンステの検討は、米国でもNDSAのような構想がある中で、米国とはどのように連携していくのか。

●米国とは政府間で議論をはじめているところであり、米国との連携の可能性についても検討しているところである。

以上